

## 幻のSSK作品

大原 幸人

5年に一度しかスタンプショウかごしま(SSK)に出品しない「イギリス切手」、去年から展示方法が代わったのを機に、目玉を2番切手「ペンスブルー」のエンタイアに貼り替えるつもりでした。

手持ちのペンスブルーのエンタは「4番」切手、20年余りに某切手商のオークションで落札し、何回かSSKの作品として展示をしましたが、気がついたのは今回と同じタイトルで5年前にリーフを作った時です(写真右下)。

見分け方は簡単で、ビクトリア女王の肖像の上部と下部に白線が入っている(4番)、入っていない(2番)、ですが、その違いに気づくまで15年余りかかりました。2番切手のエンタを貼ったリーフが会場で日の目を見るのは、5年後の予定です。(カタログ番号はスコット基準)



拡大図(左上)はエンタ上の切手(4番)で、肖像上下に白線が入っている。拡大図(左中・下)は世界最初の切手ペニーブラック(1番)とペンスブルー(2番)で、白線が入っていない。